



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場会社名 テルマー湯ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 3521 URL <https://thermae-yu-hd.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）鈴木隆太
問合せ先責任者 （役職名）経理部 部長 （氏名）野村嘉之 TEL 03-6418-4391
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	754	53.6	69	3.3	70	5.7	36	51.4
2026年3月期第1四半期	491	6.9	67	57.4	67	60.7	23	12.0

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 36百万円（51.4％） 2026年3月期第1四半期 23百万円（12.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	1.37	1.35
2026年3月期第1四半期	0.90	0.90

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	5,857	4,876	82.8
2026年3月期	6,000	4,967	82.5

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 4,850百万円 2026年3月期 4,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	5.00	5.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,060	13.6	320	4.4	320	4.1	180	12.3	6.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	26,466,366株	2026年3月期	26,466,366株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	17,683株	2026年3月期	17,333株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	26,448,834株	2026年3月期1Q	26,451,503株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サービス需要やインバウンド需要は引続き好調だったことから、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、その一方で円安による輸入物価の上昇や中東情勢の緊迫化による資源価格の高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの主力である温浴事業では、東京都新宿区歌舞伎町にて事業展開する温浴施設「テルマー湯 新宿店」におきまして、当第1四半期連結累計期間の入館者数は前年同四半期と比べ4.9%増加し、8万7百人となりました。集客活動といたしましては、地下2階の「テルマー湯BAR」をリニューアルし、営業開始時間も従来の11時30分オープンから8時オープンに早めて5月1日に「CAFÉ&BARネコリタ」として新たにオープンいたしました。従来、食事・アルコール類は11時30分からしかご提供できませんでしたが、営業開始時間を早めたことにより、8時からモーニングセットなどの軽食・アルコール類もご提供できるようになり、大変ご好評いただいております。また、季節ごとに取組んでいるイベントといたしましては、6月3日より「夏のイタリアフェア」を開催し、イタリアを感じていただける限定の湯やレストランでの限定メニューなど多数企画いたしております。

東京都港区西麻布で事業展開する「テルマー湯 西麻布店」におきましては、当第1四半期連結累計期間の入館者数は前年同四半期と比べ1.6%減少し、2万2千1百人となりました。西麻布店では有名アウフギーサーを多数ゲストに迎え、アウグースに特に注力して他店との差別化を図っております。集客活動といたしましては、5月29日にウェルネスイベントとして「Special Stoic Day」を開催いたしました。筋肉トレーニングによる「動」と、温浴・サウナによる「静」を掛け合わせることで相乗効果を狙ったウェルネス企画であり、有名アウフギーサーに加えゲストトレーナーとして湯浅 陸さんをお迎えし、館内ジムにてご指導をいただきました。さらに6月からは毎週金曜日は「Stoic Friday」としてプロテインドリンクやジム飯をお手頃価格にてご提供いたしております。

その結果、温浴事業の売上高は前年同四半期に比べ6.5%増加し510,712千円、営業利益は前年同四半期に比べ21.5%増加し137,959千円となりました。

不動産事業では、東京都港区西麻布に所有する「エコナック西麻布ビル」の住居部分の賃貸収益につきまして、継続して安定した収入を得ることができましたが、退去部屋を新たに賃貸せず自社グループでの利用を予定していることから売上高、営業利益の減少要因となりました。

その結果、不動産事業の売上高は前年同四半期に比べ17.7%減少し9,646千円、営業利益は前年同四半期に比べ93.6%減少し274千円となりました。

食品事業では、夏向けの麺類の具材などが好調だったほか、引続き大手コンビニ・スーパー向けのおにぎりの具材も好調に推移いたしました。また、「愛犬と一緒に安心して味わえる」をテーマに、自社ブランドとして立ち上げた「Chillわんシリーズ」などの製造をするため、長野県に製造設備を新設し本格的に稼働いたしました。しかしながら、長野県の製造設備にかかる初期投資費用が高んだことなどにより利益の減少要因となりました。

その結果、食品事業の売上高は234,586千円、営業損失は5,829千円となりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同四半期に比べ53.6%増加し754,945千円となりました。営業利益は前年同四半期に比べ3.3%増加し69,575千円、経常利益は前年同四半期に比べ5.7%増加し70,914千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ51.4%増加し36,242千円となりました。

なお、2025年7月に食品事業を手掛ける青柳食品販売株式会社の全株式を取得し子会社化したことにより前中間連結会計期間より新たに「食品」事業を報告セグメントに追加しております。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少や有形固定資産の減少などにより前連結会計年度末と比較して142,269千円減少し、5,857,947千円となりました。

負債は、未払法人税等の減少や長期借入金の減少などにより前連結会計年度末と比較して51,506千円減少し、980,947千円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより前連結会計年度末と比較して90,762千円減少し、4,876,999千円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月2日の「2026年3月期 決算短信の一部訂正について」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300,584	1,218,443
売掛金	172,225	190,607
商品	27,436	29,036
原材料及び貯蔵品	10,139	11,825
その他	15,775	17,403
貸倒引当金	△303	△428
流動資産合計	1,525,857	1,466,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,083,075	2,017,694
機械装置及び運搬具（純額）	42,432	39,768
工具、器具及び備品（純額）	55,260	51,339
土地	1,834,794	1,834,794
有形固定資産合計	4,015,562	3,943,595
無形固定資産		
借地権	83,445	83,445
ソフトウェア	3,705	3,339
電話加入権	1,528	1,528
のれん	187,037	180,196
無形固定資産合計	275,717	268,510
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
繰延税金資産	14,373	10,532
その他	168,106	167,820
投資その他の資産合計	183,080	178,952
固定資産合計	4,474,360	4,391,058
資産合計	6,000,217	5,857,947

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,262	128,565
1年内返済予定の長期借入金	159,932	131,582
未払金	53,261	82,076
未払法人税等	75,371	26,417
契約負債	19,179	2,484
前受金	6,544	6,938
賞与引当金	7,024	12,033
株主優待引当金	4,415	3,335
その他	52,151	72,483
流動負債合計	501,142	465,917
固定負債		
長期借入金	245,340	224,007
繰延税金負債	28,921	33,543
再評価に係る繰延税金負債	10,296	10,296
資産除去債務	243,360	244,069
長期預り金	3,393	3,113
固定負債合計	531,312	515,030
負債合計	1,032,454	980,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,235,309	4,235,309
利益剰余金	596,374	500,371
自己株式	△3,548	△3,602
株主資本合計	4,928,134	4,832,078
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	18,765	18,765
その他の包括利益累計額合計	18,765	18,765
新株予約権	20,861	26,155
純資産合計	4,967,762	4,876,999
負債純資産合計	6,000,217	5,857,947

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
売上高	491,385	754,945
売上原価	367,786	585,212
売上総利益	123,599	169,733
販売費及び一般管理費	56,270	100,158
営業利益	67,328	69,575
営業外収益		
固定資産賃貸料	384	384
受取手数料	324	452
受取保険金	342	—
受取家賃	433	159
補助金収入	—	723
その他	128	760
営業外収益合計	1,611	2,480
営業外費用		
支払利息	1,815	1,133
その他	5	6
営業外費用合計	1,820	1,140
経常利益	67,119	70,914
特別損失		
固定資産除却損	331	—
役員退職慰労金	25,000	—
特別損失合計	25,331	—
税金等調整前四半期純利益	41,788	70,914
法人税、住民税及び事業税	21,840	26,417
法人税等調整額	△3,990	8,254
法人税等合計	17,850	34,672
四半期純利益	23,937	36,242
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,937	36,242

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	23,937	36,242
四半期包括利益	23,937	36,242
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,937	36,242
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	温浴	不動産	合計
売上高			
温浴 施設利用料等	340,003	—	340,003
温浴 その他のサービス等（注1）	139,499	—	139,499
不動産賃貸 管理サービス等	—	576	576
顧客との契約から生じる収益	479,502	576	480,079
その他の収益（注2）	165	11,140	11,306
外部顧客への売上高	479,668	11,717	491,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	824	824
計	479,668	12,541	492,209
セグメント利益	113,532	4,269	117,802

（注1）温浴 その他のサービス等は、飲食、マッサージ等による売上高になります。

（注2）その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等になります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	金額
報告セグメント計	492,209
セグメント間取引消去	△824
四半期連結損益計算書の売上高	491,385

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	117,802
全社費用（注）	△50,473
四半期連結損益計算書の営業利益	67,328

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	温浴	不動産	食品	合計
売上高				
温浴 施設利用料等	362,558	—	—	362,558
温浴 その他のサービス等（注1）	147,989	—	—	147,989
不動産賃貸 管理サービス等	—	316	—	316
食品販売	—	—	234,586	234,586
顧客との契約から生じる収益	510,547	316	234,586	745,451
その他の収益（注2）	165	9,329	—	9,494
外部顧客への売上高	510,712	9,646	234,586	754,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	46	46
計	510,712	9,646	234,633	754,992
セグメント利益	137,959	274	△5,829	132,404

（注1）温浴 その他のサービス等は、飲食、マッサージ等による売上高になります。

（注2）その他の収益は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等になります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	金額
報告セグメント計	754,992
セグメント間取引消去	△46
四半期連結損益計算書の売上高	754,945

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	132,404
全社費用（注）	△62,829
四半期連結損益計算書の営業利益	69,575

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前中間連結会計期間より、青柳食品販売株式会社の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い「食品」の報告セグメントを新たに追加しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る減価償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	74,331千円	75,120千円
のれんの償却額	—	6,840

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。